高騰飼料の代替について

【質問】畜産経営において原材料を輸入に頼っている配合飼料を与える割合が高いほど経営が不安定になることは、近年の飼料価格の高騰により証明された。そこで代替品としてデントコーンサイレージの普及に取組んではどうか。

〔答弁〕アストとしても飼料の自給率を高める必要性から、笛吹牧場でデントコーンの試験栽培を行い、サイレージを製造し、成果が上がるようであれば普及していきたいと考えている。

【質問】現在の畜産農家では、サイレージ作りまで手が回らない。ラッピングサイレージを製造し畜産農家に供給できないか。

〔答弁〕試験栽培では、デントコーンのラッピングサイレージを製造する予定である。又、供給については今後畜産農家との話し合いの中で検討していく。

遠野ツーリズム交流推進事業について

【質問】事業の内容は。

〔答弁〕遠野にある自然・文化・郷土芸能等の地域資源を活用しながら都市と農村の交流拡大を図るグリーンツーリズムの推進事業である。

【質問】20年度事業で子供農山村交流プロジェクトを実施し、好評と聞くがその成果は。

〔答弁〕国の先導型モデル地域として全国14地域の一つとして指定を受け、そのモデル校として宮守小学校の5年生を、附馬牛・松崎地域の農家で民泊を経験させ、子供達にさまざまな体験を積ませる事ができ、非常に良いプロジェクトであった。

【質問】今後の支援体制、事業2年度目はどのように対応するか。

〔答弁〕国家プロジェクトでやられてきたが、都市部では関心が今ひとつである。遠野市は21年度も引き続き実施していきたい。

▲子ども農山漁村交流プロジェクト風景

▲今後の盛り上がりが期待される記念事業

遠野まつり分離開催決定の経緯について

【質問】遠野まつりが9月の第3土日に固定との新聞記事が出され、しかも八幡宮例大祭と分離開催となったが、その経緯は。

〔答弁〕市民からまつりに参加しやすい土日に開催してほしいとの声が多くあり、まつり実行委員会としても各種団体等にアンケートをとり、結果は84％の団体が9月の第3土日の開催を望んでいることが分かった。また、市内で行われている15のイベント（まつり）について色々な角度から検討するために「ふるさとのまつり検討委員会」を立ち上げて様々協議検討を続けてきた。その中でも遠野まつりを議論していただき、9月の第3土日がいいのではないかとの提言もいただいた。以上のような経緯を踏まえて、遠野まつり実行委員会としても9月の第3土日に遠野まつり開催を決定した。

遠野物語発刊100周年記念事業について

【質問】遠野物語発刊100周年記念事業の計画は。

〔答弁〕プロジェクトは平成20年10月に立ち上がった。記念事業の概要で市が主催する事業には、学術的な遠野物語講座の開催、学校、家庭で学べるクイズ形式の小学校高学年、中学生向けの遠野物語テキストの作成、高校生以上には遠野物語入門書の発行、遠野物語芸術祭の開催等を予定している。この事業のホームページを4月までに立ち上げる。さらに遠野物語の日宣言をする。

【質問】この記念事業にあわせて佐々木喜善をもっと顕彰、PRすべきではないか。

〔答弁〕当然、ホームページでも紹介、入門書でも採り上げてきちんと明記して顕彰していく。さらに、伝承園にある佐々木喜善記念館もリニューアルする予定である。